

不動産鑑定業界と不動産市場の動向に関する定期調査(2021年1月現在)

設問1 不動産鑑定業界分野のトピックや貴団体の活動に関するご意見をお書きください。

整理番号	団体名	国名	回答
1	MAPPI (インドネシア鑑定人協会)	インドネシア	N/A
2	JAREA (日本不動産鑑定士協会連合会)	日本	グローバル化に対応したJAREAの活動 企業の事業活動や投資活動のグローバル化が進む中、不動産分野では、実際の国際的な不動産取引の増加とともに、資金調達の増加、不動産投資信託、およびこれらの取引に関連する不動産商品への投資が活発になっている。JAREAは、不動産鑑定評価を取り巻くこうした環境の変化を新たな事業創出の好機と捉えており、鑑定評価のグローバル化に向けた様々な活動を促進している。具体的には、(1) 評価基準のグローバル化への対応、(2) 業務領域の拡大、(3) 国際協力の推進を、国際関連活動に関する3つの柱に掲げており、現在、海外の専門機関の協力を得て着実に取り組んでいる。
3	KAPA (韓国鑑定評価士協会)	韓国	<ul style="list-style-type: none"> ・ 汎太平洋不動産鑑定士・カウンセラー会議 (PPC) オンラインミーティングへの参加 (2020年10月16日) ・ World Association of Valuation Organisations (WAVO) 総会 オンラインミーティングへの参加 (2020年10月20日)
4	RISM (マレーシア測量士協会)	マレーシア	活動制限令 (MCO) の発令に伴い、マレーシア測量士協会 (RISM) は、継続的専門能力開発 (CPD) 要件を満たす一環として定期的に会員向けウェビナーを開催し、NGO活動に参加している。
5	FECOVAL in Mexico (メキシコ鑑定協会)	メキシコ	全国で査定を行う重要性をテーマに、毎週、基調講演者がZoom、Facebook、YouTubeを通じ、全国で講演を実施している。また、全国的に月次コースを推進しており、査定分野の博士号取得や航空宇宙分野の査定専門家を目指すことのできるコースを最近開始した。
6	PARA (フィリピン鑑定協会)	フィリピン	フィリピン鑑定協会 (PARA) は、フィリピンでライセンスを更新する不動産従事者向けに、15ユニット/コースのオンライン継続的専門能力開発 (CPD) セミナーを4回開催した。